

科目分類	看護専門科目（母子看護学）	開講時期	1・2年 前期			
研究キーワード	母性性、親性、母児関係と母子関係、父子関係、生殖医療、子産み子育ての社会的背景 生命倫理					
科目名	母性看護学特論					
英文	Advanced Study in Women's Health Nursing					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	交野 好子					
メールアドレス	y-katano@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	随時相談に応じます。事前にメールでご連絡ください。			

授業目的	<p>リプロダクティブヘルス／ライツや Well-being の観点から、女性の健康、妊娠・出産・育児を中核に、母性性・父性性・親性の発達の特長や課題を理解するとともに、エビデンスに基づいた援助方法の創造・開発のためのプロセスを学習する。</p>
授業概要	<p>母性看護学領域における諸理論を理解し、先行研究等の文献および経験から今日的課題を追究すると共に、最新の専門的知識を身に付ける。その上で知識に裏付けられたアセスメント能力を養うとともに、対象への援助を創造していくための手法を学ぶ。特に、妊産婦・父親およびその他の家族を対象に、心理的側面から様々な状況に対応できるための援助方法の開発・評価について探求する。</p>
授業計画	<p>第1回 母性看護学の特長と課題 第2回 女性の健康および発達と課題 第3回 思春期の発達課題（反抗が意味するもの） 第4回 親性の発達と課題（思春期・青年期・成熟期） 第5回 最新の生殖医療と倫理（不妊とその治療） 第6回 最新の生殖医療と倫理（出生前診断） 第7回 母児関係・母子関係・父子関係と相互作用 第8回 妊婦の心的ハイリスクと母児関係・母子関係 第9回 出産直後の母子接触 第10回 出産方法からみた課題（夫立ち合い分娩） 第11回 出産時の産痛と出産満足度 第12回 出産方法からみた課題（帝王切開） 第13回 障がい児の出産における受容と親子関係 第14回 育児と育児不安 第15回 母性看護における倫理的・法的な問題と課題</p>

教材 参考文献等	参考文献はその都度紹介する。レジユメを配布する。
成績評価 基準・方法	プレゼンテーション 50%、レポート 50%
履修要件	なし
関連科目	なし
留意事項 その他	自主的・積極的な学習を期待します。